

2022年6月14日

株主各位

東京都港区芝浦一丁目1番1号

株式会社 東芝

取締役

綱川 智

「第183期定時株主総会招集ご通知」及び「第183期報告書（第183期定時株主総会招集ご通知添付書類）」の記載内容の一部修正について

2022年6月13日付で株主の皆様にご送付いたしました「第183期定時株主総会招集ご通知」及び「第183期報告書（第183期定時株主総会招集ご通知添付書類）」の一部につきまして、下記のとおり、修正させていただきます。

記

1. 第183期定時株主総会招集ご通知

(1) 修正箇所

19ページ 「候補者番号7 島田太郎」の「代表執行社長 CEO 候補者、取締役候補者とした理由」

20ページ 「候補者番号8 柳瀬悟郎」の「代表執行副社長 COO 候補者、取締役候補者とした理由」

(2) 修正内容

修正箇所には下線を引いております。

19ページ 「候補者番号7 島田太郎」の「代表執行社長 CEO 候補者、取締役候補者とした理由」

<修正前>

代表執行社長 CEO 候補者、取締役候補者とした理由

<修正後>

代表執行役社長 CEO 候補者、取締役候補者とした理由

20 ページ 「候補者番号 8 柳瀬悟郎」の「代表執行副社長 C00 候補者、取締役候補者とした理由」

<修正前>

代表執行副社長 C00 候補者、取締役候補者とした理由

当社は、取締役のうち過半数を社外取締役としていますが、事業の安定的な遂行のため、執行役兼務の取締役に原則として2名とすることといたしました。

柳瀬悟郎氏は、1991年に当社に入社して以来、エネルギー事業に30年近く携わり、2020年からは東芝エレベータ(株)の代表取締役執行役員社長として、「グローバル人材の強化」「ガバナンスの強化」「顧客対応力の強化」といった、世界と戦えるチームを目指し、改革に取り組んでまいりました。2022年3月からは、当社の代表執行副社長 C00 として、代表執行役社長 CEO を補佐し、新事業計画の策定を進め、当社の企業価値向上に向けた戦略的選択肢の検討を進めるなど、全社の課題に取り組んでおります。

<修正後>

代表執行副社長 C00 候補者、取締役候補者とした理由

当社は、取締役のうち過半数を社外取締役としていますが、事業の安定的な遂行のため、執行役兼務の取締役に原則として2名とすることといたしました。

柳瀬悟郎氏は、1991年に当社に入社して以来、エネルギー事業に30年近く携わり、2020年からは東芝エレベータ(株)の代表取締役執行役員社長として、「グローバル人材の強化」「ガバナンスの強化」「顧客対応力の強化」といった、世界と戦えるチームを目指し、改革に取り組んでまいりました。2022年3月からは、当社の代表執行副社長 C00 として、代表執行役社長 CEO を補佐し、新事業計画の策定を進め、当社の企業価値向上に向けた戦略的選択肢の検討を進めるなど、全社の課題に取り組んでおります。

2. 第183期報告書（第183期定時株主総会招集ご通知添付書類）

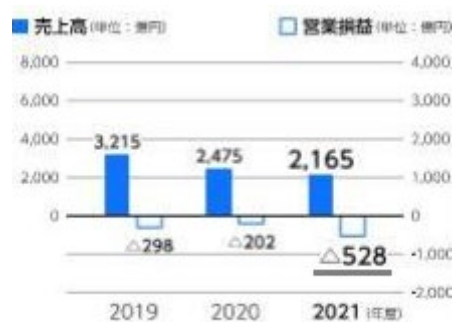
(1) 修正箇所

12 頁 「その他」の「売上高/営業損益」におけるグラフの2021年度の営業損益の数値

(2) 修正内容

修正箇所には下線を引いております。

<修正前>



<修正後>



(3) その他

第183期報告書22頁の「5 当社の株式及び新株式予約権の状況」「(4) 大株主」の(注)6において、パークレイズ・バンク・ピーエルシー及びパークレイズ・キャピタル・セキュリティーズ・リミテッドが2022年5月9日現在、共同で20,891千株(株券等保有割合4.82%)を保有している旨の大量保有報告書の変更報告書が提出されている旨記載しておりましたが、2022年6月13日付で2022年5月9日現在の保有株式数を7,215千株(株券等保有割合1.67%)とする同変更報告書の訂正報告書がパークレイズ証券㈱から提出されております。

以上